

新聞広告について

44期生

I テーマ設定の理由

普段新聞を読む時、何げなく見ているのが新聞広告。身の回りであっても案外詳しく知らないものである。そこで私は、どんな広告が多いのか、また広告は曜日などによって分布が変化するのか、その辺を中心に研究してみようと思った。

II 研究方法

(1) 3週間分の新聞（朝日・6月上旬～7月の朝刊夕刊）を集める。

(2) 新聞広告を数のうえで分類する。（図1参照）

(3) (2)をもとにグラフを作って分析し、その原因をさぐる。

ア. どんな種類の広告が多いのか

イ. 曜日による分布の違い

ウ. 朝刊と夕刊における分布の違い

エ. 面による分布の違い

		6月24日(月)朝刊									
16分類	面	1~4	5~8	9~12	13~16	17~20	21~24	25~28	29~32	計	
a				1					1	2	
b							1		2	3	
c	1		1			1			3	6	
d	9	3	1	1		1			1	16	
e						1				1	
f	2					1		1	4	8	
g				1					4	5	
h										0	
i							1			1	
j			1		4	1	1		4	11	
k	2	2	1			1	1	2		9	
l									1	1	
m										0	
n										0	
o										0	
p	1					1			4	6	
計		15	6	4	6	5	6	3	22	69	

▲図1 新聞広告の分類例

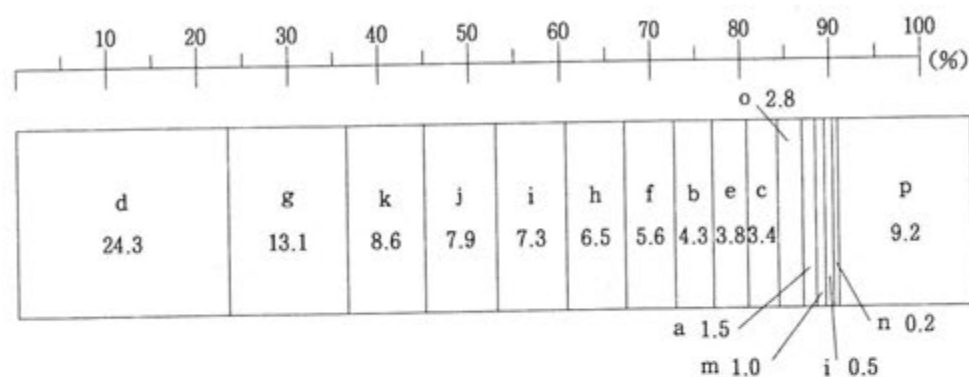
注) ● 16分類

- a. 不動産
- b. 金融・保険
- c. 輸送・通信
- d. 印刷・出版
- e. 建築
- f. 美容・医療
- g. 塾・予備校
- h. 映画・劇場
- i. 旅行
- j. 食品・飲料
- k. 電気・機械
- l. 化学・石油
- m. 金属・鉱業
- h. ゴム・窯業
- o. 衣料・家具
- p. その他

● 面の分類……本当は1面1面したかったが、新聞によって面の数が変わるのので、1部をだいたい均等に8つに分け、前からABC D……Hとした。

Ⅲ 研究内容

ア. どんな種類の広告が多いのか。(図2参照)



▲図2 全体の広告の分布

- 〈結果〉 第1位 d. 印刷・出版 (24.3%)
 第2位 g. 塾・予備校 (13.1%)
 第3位 k. 電気・機械 (8.6%)

〈考察〉

印刷・出版関係の広告がとびぬけて多いのは、朝刊の第1面の下が書籍類の専用というか、独占されていたことが原因だと思う。また、塾・予備校関係が多いのは、ちょうど時期的に言うと夏休み前ということで、夏季講習などの募集を競うぐらいの感じで広告を出していたからだろう。電気・機械関係については、自動車の宣伝広告が多く、これは自動車会社が夏のボーナスをねらって出したのではないと思う。旅行関係も同じように夏という季節が関係しているのではないだろうか。

イ. 曜日による分布の違い (図3参照)

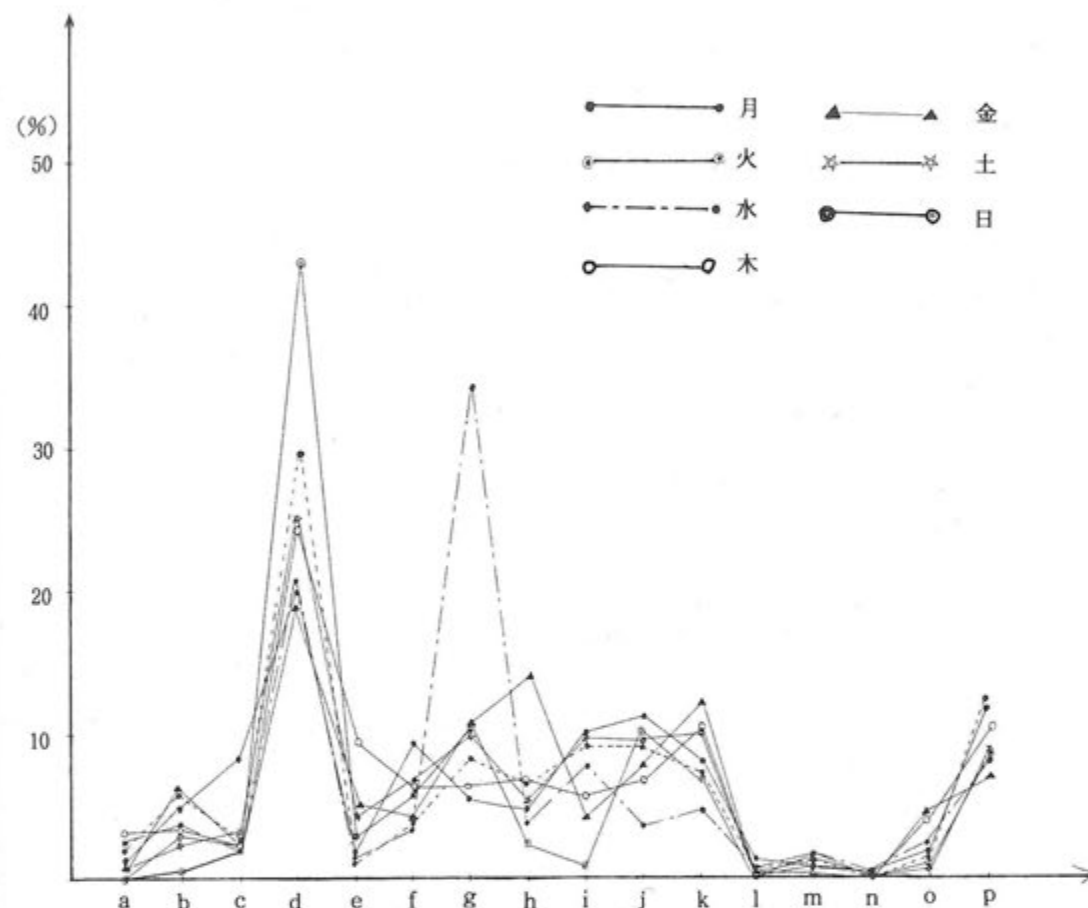
○(2)で作った3週間分のデータを曜日別に計算し、分布の違いを調べる。

〈結果〉 曜日による違いはさほど見られない。強いて言うなら、月曜日はやや、印刷・出版関係が多い。また水曜日は「塾・予備校の特集広告」があった為に他の曜日と分布が異なってしまった。

〈考察〉

はっきり言ってどうしてそうなるのか、あまりよくわからない。しかし、これは、広告を出す側があまり曜日を意識していないか、あるいは特定の曜日に広告を出す側がほぼ均等にわかれているかのどちらかだろう。つまり、例をとって表すと、前者は銀行などで、たくさん預金してもらう為にどの曜日に出せばいい、というわけではないだろう。言い換えれば、何曜日でも同じ、という事

だ。一方、後者は雑誌がその典型的な例だろう。週刊誌は毎週〇曜日発売と決まっているわけで、こちらはかなり曜日が気になる。前日に広告を出す、などせねば効果がない。そのような出版社が曜日ごとにだいたい均等にわかれている、ということと言いたかったわけだ。ということで、その裏にはいろいろあるけれど、表面では曜日による違いはあまり見られなかった。



▲図3 曜日別の分布

ウ. 朝刊と夕刊における分布の違い (図4参照)

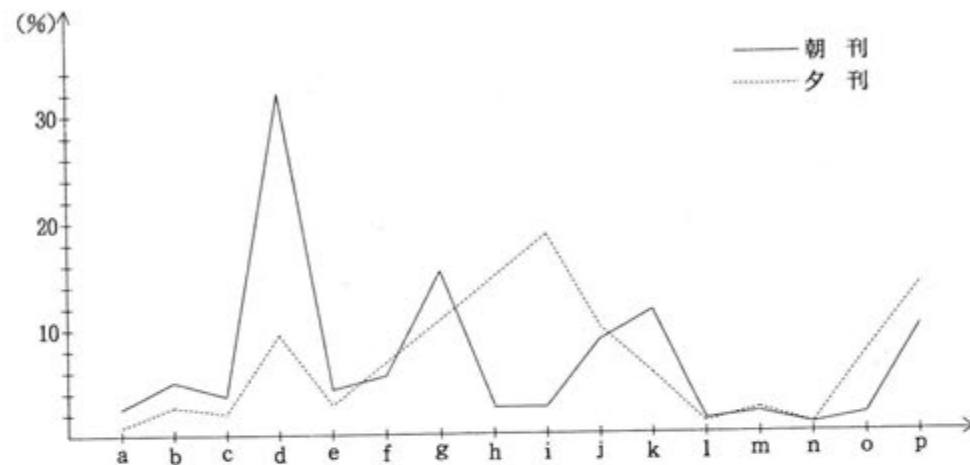
○(2)で作ったデータを朝刊・夕刊別に計算し、分布の違いを調べる。

- 〈結果〉 朝刊——印刷出版関係が多い。
 夕刊——旅行関係が多い。

〈考察〉

朝刊と夕刊を比べてみると、新聞の内容から見ても朝刊の方がかたく、夕刊の方が娯楽的である。それは、きっと夕刊というものは、仕事が終わってから

ほっとした時に読むものであって、読む側してみれば娯楽っぽい方が好まれるからだろう。だから、新聞広告も同じように朝刊にはかたい印刷・出版関係、夕刊には娯乐的な旅行関係が多くなるのだろう。つまり、新聞を読む側に合わせているものと考えられる。



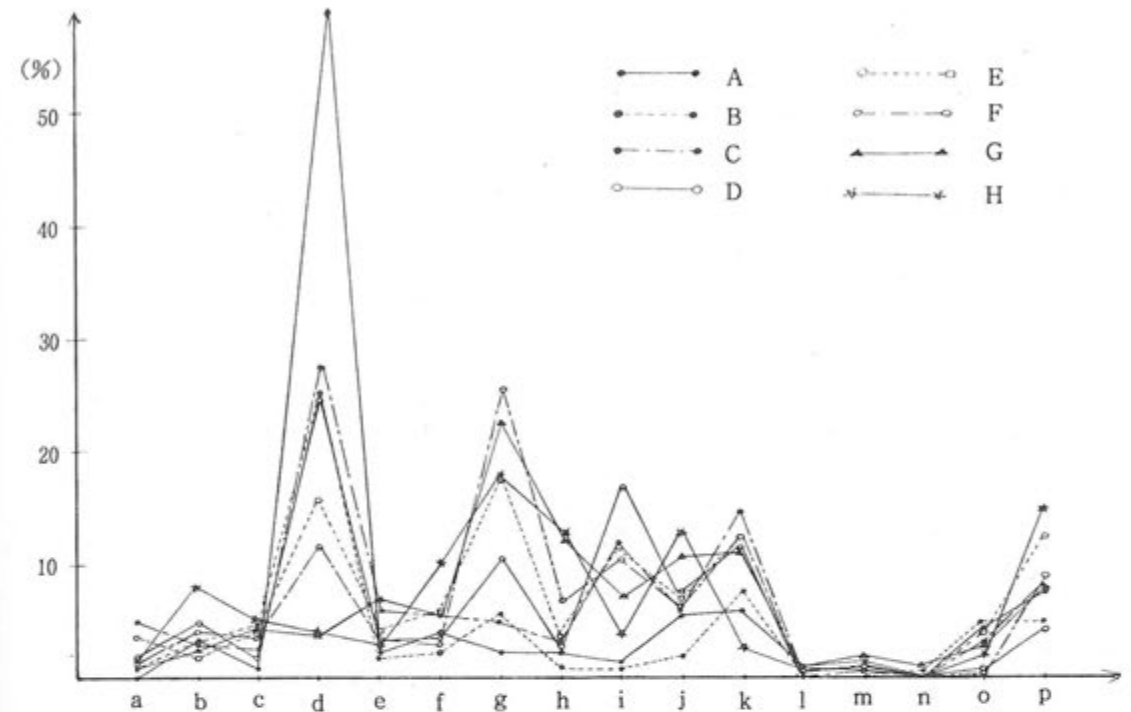
▲図4 朝刊・夕刊別の広告の分布

エ. 面による分布の違い (図5参照)

○(2)で作った3週間分のデータを面(A~H)別に計算し分布の違いを調べる。

〈結果〉 前の方——印刷・出版関係が多い。
真ん中辺り——塾・予備校と旅行関係が多い。
後ろの方——食品・飲料関係が多い。

〈考察〉この場合も、朝刊・夕刊とよく似ているのではないかと思われる。前の方(数字の少ない方)には重大ニュースなどが新聞にとりあげられる。したがって、その付近に掲載されている広告も書籍類などでかたくきめているのだろう。また真ん中辺りや後ろの方には、新聞もどちらかといえば娯乐的なので、広告も旅行や食品・飲料関係が多くなっているのではないか、と考えられる。



▲図5 面別の広告の分布

IV まとめ

新聞広告は何ともなしにただ出されているわけではない。そこには、時期的(ここでは夏休み前)なものや、周辺の新聞の様子、曜日的なものなどいろいろ考えられて出しているのである。だから、違う時期(例えば、冬休みなど)に同様に調べてみれば、きっと違った結果が出てくるのではないか、と思う。結局、広告は読む側に合わせて出されているのである。

V 反省・感想

この研究をしてみて、結論的なことは「まとめ」に書いたぐらいしかわからなかったけれど、大変やりがいがあったと思う。最初は、数のうえだけでなく、紙面上に占める面積の割合も調べる予定だったが、データを作ることは思ったより困難で夏休みの終わりごろまでかかった。だから、紙面上に占める面積の割合についても調べれば、もう少し違ったことも発見できたのではないかと思う。

VI 参考文献 朝日新聞